

留 学 報 告 書

記入日：2011年12月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	カナダ連邦
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	モントリオール大学 Université de Montréal
留学期間	2010年9月～2011年4月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学部 社会学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年5月3日
明治大学卒業予定年	2012年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月上旬～12月下旬 2学期：1月上旬～4月下旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	約5万人
創立年	1907年

留学費用項目	現地通貨 (カナダドル =80円で計算)	円	備考
授業料	\$ 0	0円	
宿舍費	\$ 2,850	228,000円	
食費	\$ 3,000	240,000円	
図書費	\$ 600	48,000円	
学用品費	\$ 150	12,000円	
教養娯楽費	\$ 700	56,000円	
被服費	\$ 100	8,000円	
医療費	\$ 0	0円	
保険費	\$ 1,500	120,000円	形態：海外渡航用保険、 現地学生用保険
渡航旅費	\$ 2,500	200,000円	
雑費	\$ 500	40,000円	
その他			
その他			
その他			
合計	\$ 11,900	952,000円	

渡航関連

渡航経路：往路：成田～ワシントン～モントリオール
復路：モントリオール～シャーロットタウン(滞在) シャーロットタウン～トロント～成田

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	12万5000円
復路	15万5000円
合計	28万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

使用サイト：トラベル子ちゃん、エアカナダ

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例：アパート、大学の宿舎など)

大学寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数)

3) 住居を探した方法：

留学先大学の斡旋

4) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

光熱費、インターネット使用料込みで 353 ドルで尚且つ個室なので、便利かつ安いことは事実です。しかし、約4畳のスペースにベッド、机、洗面台、クローゼット、冷蔵庫が詰め込まれているので、とても窮屈です。更には配属される寮によってはキッチンが無いので、現地で電気コンロを買うなどの対応が必要です。確かに寮は便利ですが、ホームステイやルームシェアなどを検討したほうがいいのかと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

基本的には、留学生対応デスクが24時間対応しているのでそこを利用します。

私の場合は、現地の友人を頼りにすることが多かったです。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

犯罪に巻き込まれることはありませんでした。治安に関しては日本で生活している際と変わらなかったです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私が利用した学生寮では無料で、特に問題なくインターネットを使用できました。ホームステイやルームシェアを検討する際は確認が必要です。大手チェーンのカフェでは無料でWIFIが使えるので、ラップトップなどを現地で購入するのもいいと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本からはVISAとMASTERの2枚を持って行き、学生証を発行してもらってから即座に口座を開きに行きました。基本的にはクレジットで事が足りますが、寮への支払いや、たまに現金でしか受け付けないお店もあるので、日本で十分換金し、口座が出来てからは海外送金でご家族に送金してもらうことをお勧めします。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

クレジットカードと常用薬です。市販のカナダの薬は日本製の薬に比べかなり強く作られているので、風邪薬やビタミン剤などは持参しておいて損は無いかと思います。後は問題なかったです。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
リクナビ、先輩方の助言
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
株式会社 群馬銀行 選択した理由：地元社会に貢献したい為
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学することで得ることも多いですが、失うものも多いです。進路の面でいえば、民間への就職活動は他の生徒に対して絶対的に後れを取ります。採用が業早い業界では、受験することも叶いません。進学や公務員、留年する覚悟が無い場合は帰国後にどのような業界に進める可能性が有るのか、また、そこに行けるだけの自信があるのかという事をしっかり吟味する必要があります。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
6単位	0単位
2) 単位認定や卒業要件について、明治大学への要望があればお書き下さい。	
不満な点はありません。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
COMMUNICATION ORALE ET ECRIRE	フランス語会話・筆記
科目設置学部・研究科	人文学部 言語学科
履修期間	9月～10月
単位数	6
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教師1人、生徒20名弱の講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が6回
担当教授	授業によって変化
授業内容	フランス語の会話力向上のカリキュラム
試験・課題など	課題は少なく、授業内で問題を解かせたり、会話の練習を行う。 試験は教師と1対1の会話。
感想を自由記入	語学力が低く、コミュニケーションにすら苦勞していた私に取っては非常に為になった。ただ、本来はこの授業を受けなくていいレベルで渡航すべき。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
INTRODUCTION A LA DEMOGRAPHIE		人口学入門	
科目設置学部・研究科	人文学部 人口学科		
履修期間	9月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Simona Bignami		
授業内容	人口学についての概論から始まり、ケベック州の人口動態について学習。		
試験・課題など	課題は3回あり、各回につき約A4に10枚程度のレポートを提出する必要がある。エクセルは必須で、図表を要求される。試験では計算問題が多かった。		
感想を自由記入	人口学の概論と言えど、高度な計算と背景知識を要求される。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
PSYCHOLOGIE DE LA PERSONNALITE		個人心理学	
科目設置学部・研究科	人文学部 心理学科		
履修期間	9月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Manuel Prigent		
授業内容	個人の深層心理と、アイデンティティの構造についての講義		
試験・課題など	授業開始前に、前回の内容について約200語程度のまとめを、授業補助員に送信する。試験は授業内容について、応用問題を含みながら約40問の4択問題+短い論述が3問。		
感想を自由記入	授業も楽しく、分かりやすい。個人の心理についてきちんと学べる。試験は中間試験と本試験の2回ある。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
PSYCHOLOGIE SOCIAL		社会心理学	
科目設置学部・研究科	人文学部 心理学科		
履修期間	1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Bassam Khoury		
授業内容	人間関係における心理学		
試験・課題など	課題は一切なく、中間試験と本試験の結果で評価が決まる。		
感想を自由記入	内容は高度で授業進行スピードは速い。授業前に毎週約70枚程度のパワーポイントのスライドが配られるので、予習が必須。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
L' ENFANCE		児童心理学	
科目設置学部・研究科	人文学部 心理学科		
履修期間	1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Mireille Joussemet		
授業内容	子どもの成長段階ごとの心理状況や、それに影響を与える要素の分析。		
試験・課題など	毎週授業前に、A4一枚程度の文章の提出。内容は個人で子どもの行動について疑問に思ったことについてのまとめ。		
感想を自由記入	授業はフランス語で行われるが、テキストは英語である。両言語への高い能力が要求される。試験は中間試験と本試験がある。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
SOCIOLOGIE GENERALE		社会学概論	
科目設置学部・研究科	人文学部 社会学科		
履修期間	1月から4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義 2週間に1回のペースで4つのグループに分かれチューターからの授業を受ける。（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Barbara Thériault		
授業内容	産業革命以降の歴史に沿った、社会学の進展について		
試験・課題など	3回の小テストと、自分が選んだテーマについての発表。発表は4つのグループに分かれたクラスで行う。本試験は約20問の選択式マークシートと数問の論述。		
感想を自由記入	発表があるので、それに備えて最低会話に自信が持てるようにすべきである。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
INEGALITES SOCIALES ET MARCHE DU TRAVAIL		社会格差と労働市場	
科目設置学部・研究科	人文学部 社会学科		
履修期間	1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	教師1人対学生150人 大教室での講義 2週間に1回のペースで4つのグループに分かれチューターからの授業を受ける。（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Sophie Mathieu		
授業内容	産業革命以降の労働問題とその対処について		
試験・課題など	3回のレポート提出がある。事前に購入したテキストの中で指定されている項を読みまとめる。試験は中間試験と本試験がある。		
感想を自由記入	授業内容は特段難しくないが、試験の問題文が難解である。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	現地大学からの入学許可証を受け取り、ビザ申請手続きに取り掛かる。特にケベック州での修学にはケベック州独自の認可が必要なので、速やかに書類を準備する。
4月～7月	ケベック州の認可が下りたため、即座にカナダ連邦のビザを申請する。クレジットカードや保険の手続きもこの時期に必ず行う。語学に関しては、大学の授業を利用する。または、教授に頼み会話の練習をしてもらう。
8月～9月	渡航前：手続きに不備が無いかを再度確認し、留学で必要なものを揃える。語学の復習をおこなう。 渡航後：モントリオール大学への就学申請を行う。交通システムや、食文化などに慣れることに集中する。
10月～12月	授業についていくことに専念する。会話に慣れ、徐々に行動範囲が広がる。冬が厳しいので、防寒の装備を整える。
2011年 1月～3月	授業に集中する。夜が長く、昼が短く気分が沈む。スポーツなどをし、気分転換することが必要。
4月～7月	帰国前：荷物の整理や、航空券の購入など帰国の準備を始める。大学寮の場合、何時まで利用するのかという申請を帰国の2週間前までに行う。 帰国後：大学への復学の手続きを怠らない。自分の進路について再考する。
8月～9月	就職活動を行う。公務員試験を受ける。
10月～12月	地元の銀行から内定をもらい、学業に専念。卒業を目指す。